

# システムセットアップガイド

本システムはコンパクトながら迫力あるドルビーデジタルや DTS サウンドで、あなたの部屋をホームシアターに変身させます。  
このシートでは、はじめてこのシステムをお使いになる方のために、接続と設置のしかたを説明しています。

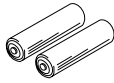
## 付属品の確認

[DVD/CD レシーバー部に付属]

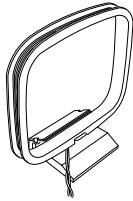
● リモコン × 1



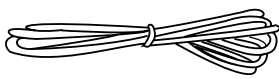
● 単 3 形乾電池 × 2  
(AA/R6P)



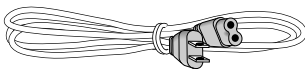
● AM ループアンテナ × 1  
(図は組み立てた状態です。)



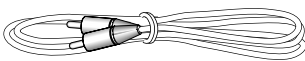
● FM 簡易アンテナ × 1



● 電源コード × 1



● ビデオコード (1.5m) × 1



- 保証書
- ご相談窓口・修理窓口のご案内
- 取扱説明書
- システムセットアップガイド (本書)
- 安全上のご注意

[スピーカー部に付属]

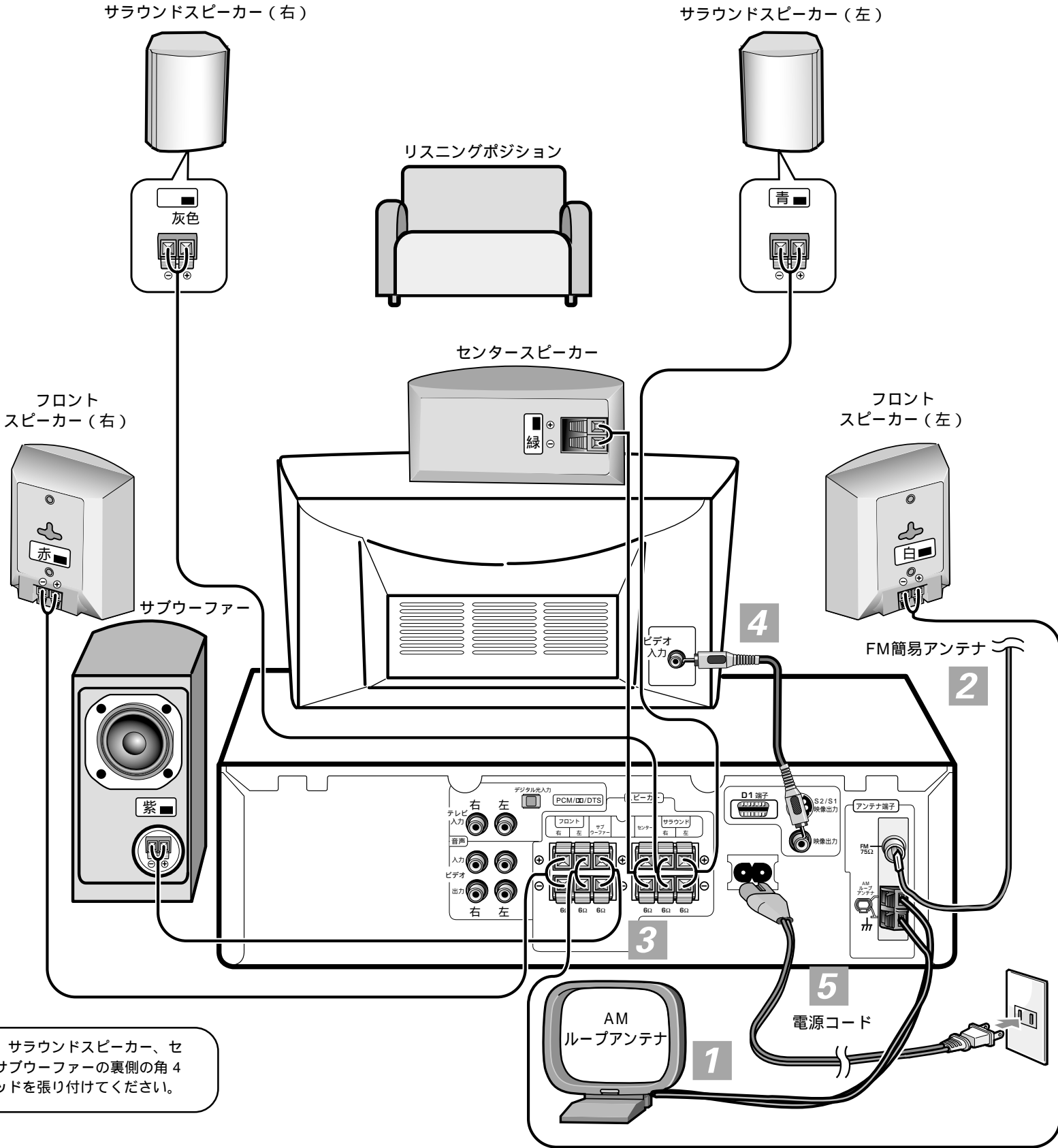
● スピーカーコード

- 5m (赤 / 白色のカラーチューブ付き / フロントスピーカー用) × 2
- 5m (緑色のカラーチューブ付き / センタースピーカー用) × 1
- 10m (青 / 灰色のカラーチューブ付き / サラウンドスピーカー用) × 2
- 5m (紫色のカラーチューブ付き / サブウーファー用) × 1

● 滑り止めパッド

## 接続のしかた

- アンテナは必ず接続してください。アンテナを接続しないと FM/AM 放送が受信できません。
- 接続を行なう場合、あるいは変更を行なう場合には、必ず電源コードを抜いてください。また電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。



## メモ

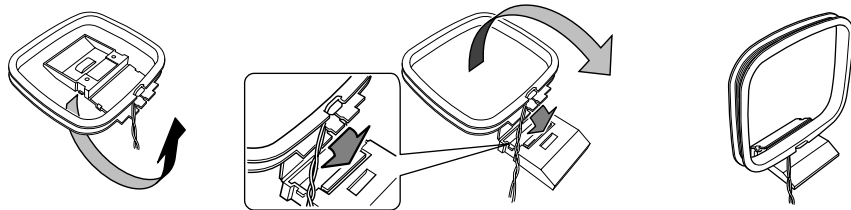
フロントスピーカー、サラウンドスピーカー、センタースピーカー、サブウーファースの裏側の角 4 箇所に、滑り止めパッドを張り付けてください。

## 1 AMループアンテナを組み立てます

台を外側に出します。

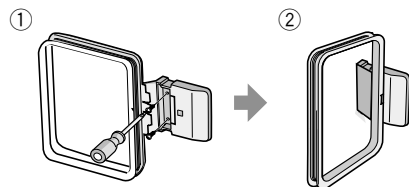
突起部を溝にはめます。

完成



壁に取り付けるには ....

ネジや押しピンなどを使って壁に取り付けてから組み立てます。



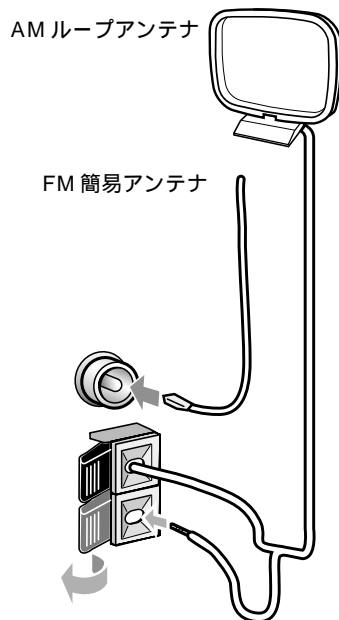
## 2 AMループアンテナとFM簡易アンテナを接続します

コードのカバーを回しながら引き抜きます。



AM アンテナ接続端子のつめを押しながら、AMループアンテナのコードを端子に差し込みます。どちらをアース側の端子(⚡)につないでもかまいません。コードを差し込んだら端子から指を離します。

FM 簡易アンテナは、中央のピンに差し込んでください。またFM 簡易 アンテナは、たらしめておいたり、丸めたままにしないで最も良い受信状態が得られるように、ピンと張ってください。

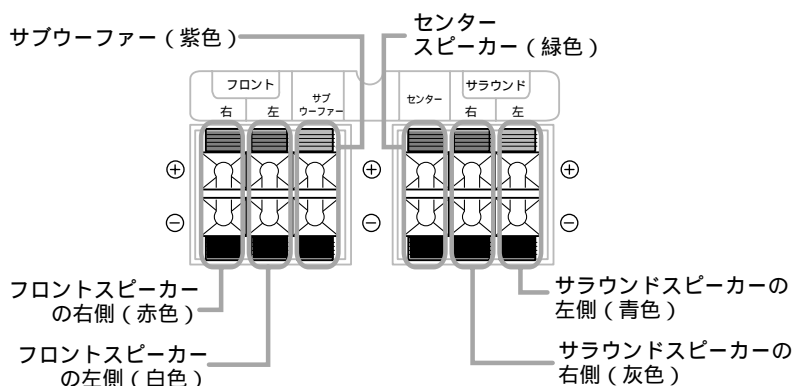
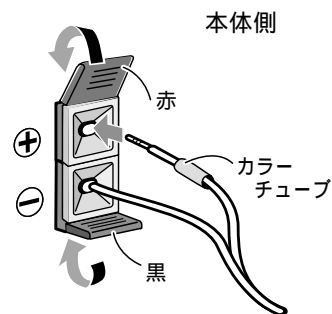


## 3 スピーカーコードをつなぎます

スピーカーコードの先端の被覆をねじりながら引き抜きます。

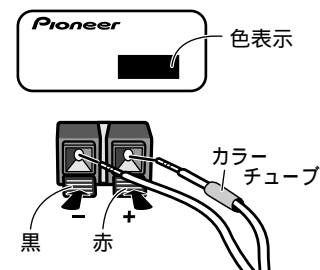


スピーカー端子のレバーを開いて、芯線を端子に差し込みます。スピーカーコードのカラーチューブのある方を端子の赤側(⊕側)に接続します。カラーチューブのないスピーカーコードは黒い端子の⊖側に差し込みます。コードを差し込んだら、レバーを閉じてください。カラーチューブの色と、各スピーカーとの関係は、リアのパネルに色分けされて表示されています。



スピーカー側の端子についても、本体側とスピーカー端子と同様に接続します。スピーカーコードのカラーチューブのある方を端子の赤側(⊕側)に接続します。カラーチューブのないスピーカーコードは黒い端子の⊖側に差し込みます。(スピーカーコードのカラーチューブの色と、スピーカーのリア部に張られてあるラベルの色とを合えます。)

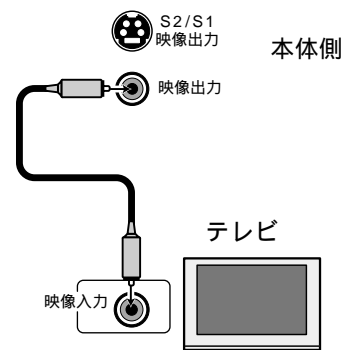
スピーカー側



**注意：** 本スピーカーを本システム以外のアンプで使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。

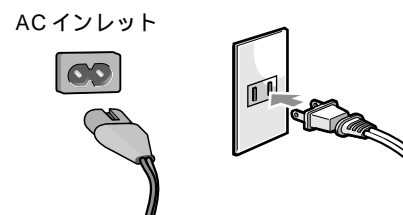
## 4 テレビと接続します

付属のビデオコード(黄色のプラグ)を本機の映像出力端子に接続します。次に、ビデオコード(黄色のプラグ)の反対側をテレビの映像入力端子(VIDEO IN)に接続します。本機では、S2/S2 端子やD1 端子からでも、テレビと接続することができます。詳しくは、取扱説明書の70ページ「外部機器との接続」をご覧ください。



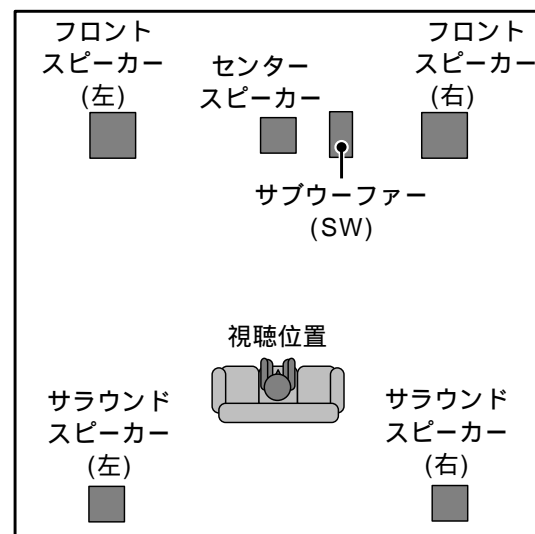
## 5 電源コードを本体と壁のコンセントに差し込みます

電源コードを本体のACインレットに差し込みます。次に電源コードのプラグ部を壁のコンセントに接続します。はじめて電源コードをコンセントにつないだ時はデモモードになります。詳しくは取扱説明書の裏表紙にある「デモ表示について」をご覧ください。



## 6 スピーカーの設置

サラウンド効果を最大限に引き出すため、下図のようにスピーカーを設置後、取扱説明書の14ページから記載されている「スピーカーの基本設定」を行ってください。



- 左右に置いたスピーカーはテレビから等距離になるように設置してください。
- センタースピーカーはテレビの下側または上側に置き、センターチャンネルの音がテレビと同じ位置に配置されるようにしてください。もしセンタースピーカーをテレビの上に置くときは、テープなどを使用して適切な方法で固定してください。固定しないと地震などの外部の振動により、スピーカーがテレビから落下してケガをしたり、スピーカーを破損する原因となります。
- サラウンドスピーカーは耳の高さからやや上方に設置すると効果的です。
- サラウンドスピーカーを視聴位置(リスニングポジション)から極端に離して設置すると、サラウンド効果が十分に発揮されません。
- 本機のスピーカーシステムは、サブウーファー以外は防磁設計(EIAJ)ですのでテレビと組み合わせても色むらが起こりにくくなっています。まれに設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15～30分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたらスピーカーシステムをテレビから離してご使用ください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。